

歩行者・自転車通行量の増加に資する事例

【滋賀県東近江市 人口：112,718人（令和4年） 計画期間：平成29年4月～令和4年3月】

成果

【中心市街地における歩行者・自転車通行量】
 基準値 平日 7,471人 休日 6,195人(H27) → **平日 8,698人 休日 8,355人(R1)**

取組のポイント

駅前宿泊施設の誘致・既存大型商業施設の再整備、新たにぎわい拠点の形成により地域の魅力が高まったことで、にぎわい再生・来街者の増加の効果が生まれる。

事業概要

【中心市街地テナントミックス事業】

駅前の町家が立ち並ぶ地域において、街なみを生かしたまちづくりを行うとともに、空家・空店舗・未利用地を活用した新規出店の誘致により、3店舗が出店。



【活用した支援措置】地方創生拠点整備交付金（内閣府）

【中心市街地商業等空店舗再生支援事業】

八日市駅周辺及び商店街区域について、新規出店事業者の支援を行う。合計4店舗が新規出店。



【近江鉄道ミュージアム】

ミュージアムが令和元年11月にオープン。近江鉄道120年の歴史を体感できる資料や展示品を公開。

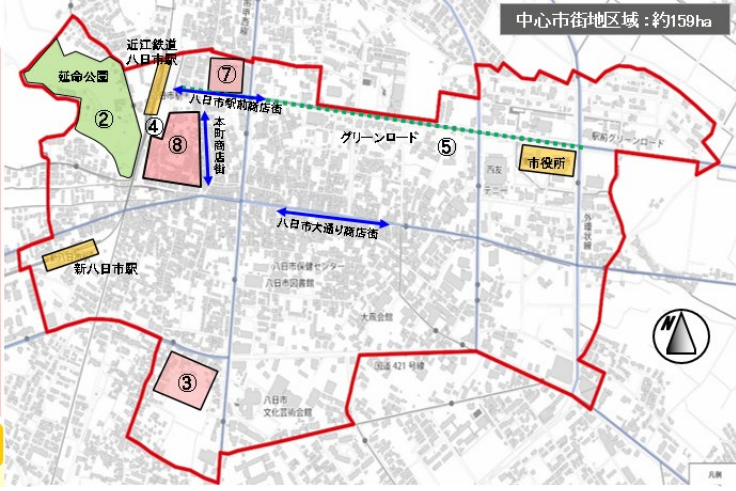


【飲食店マップ作成事業】

近江鉄道八日市駅周辺の飲食店舗を紹介するためのMAPを作成。



【東近江市概要】 中心市街地区域 約159ha



【八日市駅前宿泊施設整備事業】

近江鉄道八日市駅前の未利用地に宿泊施設を誘致。7階建て180室の施設が2017年3月にオープン。

【大規模商業施設再整備事業】

中心市街地の大型商業施設を活性化させるため、若年層から支持されている大型家具店を誘致したことで、集客拠点としての魅力が向上。